

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	19 高度・良質な医療を提供する	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	1 地域の中核的病院としての機能を充実する	【項】	健康の維持・増進
【基本事務事業】	1901 地域の医療ニーズにおける役割と機能の充実を図る	【基本計画区分】	202【担当課】 5711000 市立病院・企画管理室

【目的】	市立病院は、地域の病診・病病連携の要の役割を果たし患者紹介率を40%に、東松戸病院は、保健・医療・福祉が連携した包括的医療の拠点と位置付け、病床利用率を90%にする。	【背景】	医療ニーズが多様化・高度化するなか、医療機関の特性に応じた機能の分担と地域の医療連携を促進し、医療資源の効率的活用と地域医療の一層の充実を図ることが求められている。地域完結型の医療を展開するうえで、二つの公立病院が果たす役割は大きい。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 事業拡大
		【今後の課題】	東葛北部医療圏の中核的医療機関として不採算部門を政策的医療として実施しているが、病院経営上の負担が大きい。市外の利用率が高いため、県及び近隣市町の応分の医療負担も検討していく必要がある。	190101	救命救急患者の命を救う	回復期リハビリやターミナルケアについても今後重要な機能となってくるので、医療連携を考慮に入れながら体制を整えていく。
		【現状分析】	東葛北部地域の中核病院として重大な役割を担っている。また、患者紹介率は順調に伸びており、逆紹介等を推進し地域医療連携を推進するとともに、地域完結型医療に向けた機能分担など、公立病院としての役割をより明確にしていく必要がある。	190102	子供の医療を行う	
				190103	急性期患者の医療を行う	
				190104	内科系中心の慢性期患者の医療を行う	

【重要性】	病状に応じた適切な医療を効率よく提供していくため、両病院の連携を強化し機能分化を図る必要がある。市立病院は診療所や病院と協力し、高度医療及び政策医療等を含めた地域の中核的病院の役割を、東松戸病院は慢性期対応型の医療や在宅医療の支援に参画し、地域医療の向上に貢献していく役割が期待されている。	【指標】	上段: 予算目標 下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
		紹介率(市立病院)		40	40	40	40	40
		(%)		39.7	41.3	41.9	47.2	49.7
		病床利用率(東松戸病院)		90	90	90	90	90
		(%)		90	92.3	92.2	77.8	79

【政策】	19 高度・良質な医療を提供する	【施策】	1 地域の中核的病院としての機能を充実する
【基本事務事業】	1901 地域の医療ニーズにおける役割と機能の充実を図る	担当課:	5711000
【事務事業】	190101 救命救急患者の命を救う	市立病院・企画管理室	会計区分 病院事業 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -

【目的】	高度な救命救急医療を総合的に24時間体制で提供する	【指標】	救命救急センター延患者数(人)	【指標概要】	救命救急センターに入院した延患者数。救命救急医療への貢献実績を表す	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
						6200	6200	6200	6200	5900	計画額	772,035	611,408	617,054	626,045	661,493
						6320	7224	6509	6579	6602	(一般財源)	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	予算額	627,411	616,093	591,496	661,493	661,493
						38.8	37.8	33.5	30	30.7	(一般財源)	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	決算額	627,411	616,093	591,496	661,493	661,493
						0	0	0	0	0	職員数	66.4	65.4	65.8	69.7	65.3
						0	0	0	0	0	単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
						0	0	0	0	0	【業務】	関係機関との連携の更なる強化を図る 第三次救命救急医療機関としての責務				
【対象】	重症及び複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者										【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績				

【定量分析】: 課題・現状分析
 高度な3次救急医療に専任の医師及び看護師等医療スタッフを投入し、重篤患者のみならず、かかりつけとしての救急にも対応し、地域医療の機能を果たしています。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
 第3次救命救急センターの指定を受け、東葛北部地域の拠点病院としての役割を果たすため、今後も医師及び看護師等医療スタッフの確保に努める。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 19 高度・良質な医療を提供する
 【基本事務事業】 1901 地域の医療ニーズにおける役割と機能の充実を図る
 【事務事業】 190102 子供の医療を行う

【施策】 1 地域の中核的病院としての機能を充実する
 担当課: 5711000
 市立病院・企画管理室 会計区分 病院事業 計画区分 一般事業 202 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
適切な診断・治療を行い、治癒・回復を図る	退院患者数(小児3科)(人)	小児医療への貢献を表す。	2250	2250	2250	2250	2250	計画額	1,744,987	1,677,748	1,832,353	1,783,981	1,783,981
			2189	2186	2256	2246	2358	(一般財源)	0	0	0	0	0
	()		0	0	0	0	0	予算額	1,744,987	1,677,748	1,832,353	1,783,981	1,783,981
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	決算額	1,744,987	1,677,748	1,832,353	1,783,981	1,783,981
()			0	0	0	0	0	職員数	130	129.8	130.1	129.2	128.7
			0	0	0	0	0	単位) 事業費:千円 職員数:人					
【対象】								【業務】	新生児の命を救う 子供を病気や怪我から救う				
乳児～小児の入院患者及び外来患者								【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					

【定量分析】: 課題・現状分析

NICU(新生児集中治療室)など長期間の治療で、新たな患者の収容に支障をきたしている状況にあり、これらの患者の受け入れ可能な後方支援ベッドなどの円滑な医療体制の対策が必要

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

小児医療センターのスタッフ、施設、設備の更なる充実を図るとともに、「周産期医療センター」の整備に向け、産婦人科医・助産師・看護師等スタッフの確保に努める。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	19	高度・良質な医療を提供する	【施策】	1	地域の中核的病院としての機能を充実する									
【基本事務事業】	1901	地域の医療ニーズにおける役割と機能の充実を図る	担当課:	5711000										
【事務事業】	190103	急性期患者の医療を行う	市立病院・企画管理室	会計区分	病院事業									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
患者さんの治癒・回復を図るため、他の医療機関と連携を図りながら高度で良質な医療を提供する。	手術件数(件)	手術室における手術実績	4900	4900	4900	4900	4900	計画額	4,751,861	6,859,936	6,960,207	6,872,251	7,884,213	
			4539	4550	4170	4413	4552	(一般財源)	0	0	0	0	0	
	平均在院日数(日)	入院患者延日数÷(入院患者数+退院患者数)×1/2	16.4	16	15	15	14	予算額	4,751,861	6,859,936	6,960,207	6,872,251	7,884,213	
			16.4	15	15.3	15.1	14.6	(一般財源)	0	0	0	0	0	
								決算額	4,751,861	6,859,936	6,960,207	6,872,251	7,884,213	
								職員数	516.9	521.2	510.6	510.6	507.3	
								単位) 事業費：千円 職員数：人						
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】	入院治療計画を作成し患者説明を行う 地域医療との連携を向上させる 高度医療・特殊医療を行う					
急性疾患の患者			0	0	0	0	0							
			【指標値】上段：予算目標 下段：実績											
			【定量分析】:課題・現状分析 機器整備を計画的に遂行し、高度で良質な医療環境を維持、先進的な医療を提供した。											
			【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性 地域の医療機関と連携を強化するとともに、急性期医療を実施していく上で必要となる高度医療機器の更新を計画的に実施する。											

【計画事業】

【計画事業名】 031高度医療機器整備事業

【節項コード】 202 【節名】 豊かな人生を支える福祉社会の実現

【項名】 健康の維持・増進

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	心臓超音波診断装置等を更新	血管造影エックス線診断装置等を整備	多目的エックス線テレビ装置、消化管系撮影装置、長時間心電図解析装置等を整備	全身用エックス線CT装置、超音波診断装置を更新	超音波診断装置、血液ガス分析装置、眼底カメラシステムを更新
実績	心臓超音波診断装置等を更新	血管造影エックス線診断装置等を整備	多目的エックス線テレビ装置、消化管系撮影装置、長時間心電図解析装置等を整備	全身用エックス線CT装置、超音波診断装置を更新	超音波診断装置、血液ガス分析装置、眼底カメラシステムを更新

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 19 高度・良質な医療を提供する
 【基本事務事業】 1901 地域の医療ニーズにおける役割と機能の充実を図る
 【事務事業】 190104 内科系中心の慢性期患者の医療を行う

【施策】 1 地域の中核的病院としての機能を充実する
 担当課: 5711000
 市立病院・企画管理室 会計区分 病院事業 計画区分 一般事業 202 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
保健や福祉を包括した総合医療を提供する	退院患者数(東松戸病院) (人)	慢性疾患医療への貢献を表す	1200	1200	1200	1200	1200	計画額	2,748,375	2,730,008	2,783,686	2,855,585	2,856,526
			1216	1269	1104	1000	999	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	予算額	2,748,379	2,730,008	2,783,686	2,855,585	2,856,526
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
慢性疾患の患者	()		0	0	0	0	0	決算額	2,543,044	2,740,438	2,737,041	2,622,291	2,670,965
			0	0	0	0	0	職員数	154	154	156	155	155
			0	0	0	0	0	単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
			0	0	0	0	0	【業務】	リハビリテーションセンターを充実する 在宅介護を支援する 介護老人保健施設の拡大を検討する				

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

急性期以後の亜急性期から慢性期の医療を担っている。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

亜急性期から慢性期の患者医療を継続できる一般病床病院として、ADL(日常生活動作)の回復・維持ができるリハビリテーション設備とスタッフの更なる充実を図る。なお、新病院建設の際には、機能等役割の検討が必要と思われる。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	19 高度・良質な医療を提供する	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	2 患者主体の医療を推進する	【項】	健康の維持・増進
【基本事務事業】	1902 患者の人権を尊重し安全体制の確保を図る	【基本計画区分】	202【担当課】 5711000 市立病院・企画管理室

【目的】	医療の質と患者サービス層の向上を図ることを目的に、医療機関の機能を中立的立場で評価し、改善を支援するために設立された(財)日本医療機能評価機構の認定を受けることで、地域住民の信頼を高める。	【背景】	医療に対するニーズは、ただ単に医療行為を行うだけでなく、プライバシーの保護・バリアフリー・インフォームドコンセントの充実など、医療に求められる要望が様々な面で強くなっている。高度な医療を迅速かつ的確に行うのはもちろんのこと、施設的な環境も含め、患者の立場に立った医療をどれだけ展開できるのかが患者及び市民からの評価の鍵となる。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				190201	患者の安全を確保する	複雑化する医療技術や医療機器を事故無く扱うために、
				190202	施設の安全体制を確保する	医療安全対策室を中心にマニュアル化や職員の意識啓発に努める。
				190203	療養環境の整備を図る	

【重要性】	安心できる医療環境のもとで患者の立場に立った医療を行うことは医療サービスの原点であり、地域の信頼に応えられる病院となるための礎である。	【今後の課題】	建物・設備の老朽化が進み、施設環境について患者ニーズに十分に対応しきれていない部分がある。地域医療の充実を図るには、両病院が今後とも地域の中核的病院として役割を果たすことが責務であること、また市立病院は災害拠点病院となっていることを踏まえ、施設の大規模改修などについて建て替えや移転も含めて検討していく必要がある。
-------	---	---------	---

【現状分析】	施設そのものが年月を経過して老朽化しているが、新病院建設計画との整合性を図り、入院患者と外来患者の快適な医療環境を提供するための計画的な整備と、医療安全局を中心とした医療安全への職員意識の向上を図り、安心安全な医療を提供していく。
--------	---

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
(財)日本医療機能評価機構の認定	()	()	100	100	100	100	100
			0	100	100	100	100
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	19 高度・良質な医療を提供する	【施策】	2 患者主体の医療を推進する
【基本事務事業】	1902 患者の人権を尊重し安全体制の確保を図る	担当課:	5711000
【事務事業】	190201 患者の安全を確保する	市立病院・企画管理室	会計区分 病院事業 計画区分 一般事業 202 戦略区分 -

【目的】	患者さん及び家族、また市民等の期待に応えられるよう、安心・安全な医療を提供する	【指標】	医療事故防止に向けたプログラムの実行 (%)	【指標概要】	医療事故を未然に防ぐための組織横断的な取り組みを表す	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
			()			100	100	100	100	100	計画額	6,900	8,402	6,551	6,757	6,490
						100	100	100	100	100	(一般財源)	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	予算額	6,900	8,402	6,551	6,757	6,490
						0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	決算額	6,551	6,991	6,490	5,437	5,473
						0	0	0	0	0	職員数	6.6	6.6	6.6	8.6	8.4
						0	0	0	0	0	単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【対象】	入院患者及び外来患者					0	0	0	0	0	【業務】	職員の意識改革を行う				
						0	0	0	0	0		患者の安全のための情報収集・分析・				

【定量分析】: 課題・現状分析
医療安全対策室を設置。インシデント・アクシデントの報告体制を確立し、医療現場の安全安心に役立っている。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
今後も引き続き、院内の医療に係る安全管理及び安全対策を行っていく。(医療安全対策委員会・院内感染対策委員会)

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	19	高度・良質な医療を提供する	【施策】	2	患者主体の医療を推進する								
【基本事務事業】	1902	患者の人権を尊重し安全体制の確保を図る	担当課:	5711000									
【事務事業】	190202	施設の安全体制を確保する	市立病院・企画管理室	会計区分	病院事業 計画区分 一般事業 202 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
施設や設備の安全性を確保する	市立病院の修繕費(千円)	保守点検を遵守し維持管理を適切に行っているが、施設・設備の安全を確保するため修繕を必要とした金額	136280	136280	136280	136280	136280	計画額	16,200	30,900	30,900	30,900	30,900
			160187	141673	142255	107860	146614	(一般財源)	0	0	0	0	0
	東松戸病院の修繕費(千円)	保守点検を遵守し維持管理を適切に行っているが、施設・設備の安全を確保するため修繕を必要とした金額	21299	21299	21299	21299	21299	予算額	16,200	30,900	30,900	30,900	30,900
			35722	23274	20239	18000	31196	(一般財源)	0	0	0	0	0
【対象】	()		0	0	0	0	0	職員数	8.2	8.3	8.2	8.2	8.2
			0	0	0	0	0	単位) 事業費:千円 職員数:人					
【対象】		入院患者及び外来患者とその家族、面会者、職員等		【業務】		施設管理システムを構築する 施設老朽化の懸念事項に対応する							
【定量分析】:課題・現状分析						【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
新病院建設の計画を考慮しながらも、施設改修を計画的に行った。						新病院建設計画を考慮した保守点検等、施設の維持管理を適切に行う。							

【政策】	19	高度・良質な医療を提供する	【施策】	2	患者主体の医療を推進する								
【基本事務事業】	1902	患者の人権を尊重し安全体制の確保を図る	担当課:	5711000									
【事務事業】	190203	療養環境の整備を図る	市立病院・企画管理室	会計区分	病院事業 計画区分 一般事業 202 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
患者それぞれの立場に配慮した安全で快適な環境のもとで、安心して医療を受けていただく	施設・療養環境に関する要望(件)	直接又は投書等により要望を受け、把握し、改善策を検討したことを表す指標	40	40	40	11	11	計画額	6,000	10,000	10,000	10,000	10,000
			0	47	55	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
	()		0	0	0	0	0	予算額	6,000	10,000	12,000	12,000	10,000
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
【対象】	()		0	0	0	0	0	決算額	6,000	10,000	12,000	12,000	10,000
			0	0	0	0	0	職員数	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2
【対象】		入院患者及び外来患者		【業務】		快適な療養環境に整備する							
【定量分析】:課題・現状分析						【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
設備のバリアフリー化など、病状に応じた病棟等での優先順位で改修を行い、未実施の個所では、看護師が介助などの対応をしている。						施設そのものが年月を経過しているため、快適な医療環境の整備を進めていく。							

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	19 高度・良質な医療を提供する	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	3 医療の品質を確保する	【項】	健康の維持・増進
【基本事務事業】	1903 医療内容の品質を確保し充実を図る	【基本計画区分】	202【担当課】 5711000 市立病院・企画管理室

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 事業拡大
(財)医療機能評価機構の認定を受けることで地域住民の信頼を高めるとともに、医療のIT化を進めることで医療の高度化・医療ニーズの多様化に対応できる体制を整える。	厚生労働省は、平成13年にわが国の医療の目指すべき姿と当面進めるべき施策を「21世紀の医療提供の姿」として提示している。この将来像において、「医療の情報化」を21世紀の医療提供の姿を考える際に不可欠な要素と位置付け、その整備を実現すべき具体的な政策課題としている。	190301	病院従事職員の質の向上を図る	電子医療情報システムを中心に、更にはレセプト申請オンライン化、DPC(包括医療)など、システムや医療体制の整備を図る。総括的な第三者評価を受け、医療の質を向上させていく。
		190302	医療材料等の安全供給体制を堅持する	
		190303	医療情報を適切に管理する	

【重要性】	【今後の課題】
医療環境の変化に適切に対応し質の高い医療を提供し続けることが、地域の中核的病院として求められており、そのニーズに応えられる体制を常に整えておく必要がある。	情報セキュリティを確保しつつ、院内における医療情報システムの部門間連携を円滑に整備していくことが当面の課題となる。また将来的には、病病・病診連携においても有効活用を図り、地域医療の充実及び向上に役立てていくことが大きな課題となる。

【現状分析】	【指標】	上段:予算目標	下段:実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
高度医療の重要な役割を果たすため、機材や人材育成も含めた環境を整備する。	(財)医療機能評価機構の認定	()		100	100	100	100	100
	総合電子医療情報システムの稼働	()		0	0	100	100	100
				0	0	100	100	100

【政策】	19 高度・良質な医療を提供する	【施策】	3 医療の品質を確保する
【基本事務事業】	1903 医療内容の品質を確保し充実を図る	担当課:	5711000
【事務事業】	190301 病院従事職員の質の向上を図る	市立病院・企画管理室	会計区分 病院事業 計画区分 一般事業 202 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
人事管理体制が適切で、職員の資質の向上を促進できるような環境を整備することで、働きやすく働き甲斐のある職場を目指す	生涯研修委員会の開催(回)	職員の生涯研修を継続的に行うための委員会	10	10	10	10	10	計画額	216,855	359,989	369,195	260,458	381,842
	()		10	10	10	10	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
	()		0	0	0	0	0	予算額	216,855	359,989	369,195	260,458	281,842
	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
	()		0	0	0	0	0	決算額	266,608	264,526	269,195	260,458	281,842
	()		0	0	0	0	0	職員数	21.6	22.3	19.6	20.8	20.4
【対象】								単位) 事業費:千円 職員数:人					
職員								【業務】	組織・体制の確保を行う 医療従事職員の技能向上を図る				

【指標値】上段:予算目標 下段:実績

【定量分析】:課題・現状分析	【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性
医師・看護師・技師・事務職それぞれの分野において、各部で専門研修会やカンファレンスを行い意識や技術の向上を図った。	病院職員のそれぞれの分野における専門研修会の充実や創意発案に関する内規などを活用し、勤労意欲の高揚を図っていく。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	19	高度・良質な医療を提供する	【施策】	3	医療の品質を確保する								
【基本事務事業】	1903	医療内容の品質を確保し充実を図る	担当課:	5711000									
【事務事業】	190302	医療材料等の安全供給体制を堅持する	市立病院・企画管理室	会計区分	病院事業 計画区分 一般事業 202 戦略区分 ー								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
医療材料等の購入及び管理を常に円滑に実施することで、安心と信頼を得る。	期限内安定供給(%)	過不足のない在庫管理を図る	100	100	100	100	100	計画額	3,143,502	3,108,318	3,077,996	3,103,328	3,066,720
			100	100	100	100	100	(一般財源)	0	0	0	0	0
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	3,143,502	3,108,318	3,077,996	3,103,328	3,006,720
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
【対象】 入院及び外来患者	(0)		0	0	0	0	0	決算額	3,148,783	3,138,991	3,127,917	3,009,675	2,867,773
			0	0	0	0	0	職員数	6.5	6.5	6.5	6.6	6.5
	(0)		0	0	0	0	0	【業務】 備品の電算管理化を推進する					
			0	0	0	0	0	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					
【定量分析】: 課題・現状分析								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
H18物流管理システムを更新し、薬品・医材購入の迅速性、事務処理の正確性を向上させ、医療現場での業務を円滑化した。								引続き、医療材料等を標準化してコストを削減するとともに、安全で安心な管理体制に努める。					

【政策】	19	高度・良質な医療を提供する	【施策】	3	医療の品質を確保する								
【基本事務事業】	1903	医療内容の品質を確保し充実を図る	担当課:	5711000									
【事務事業】	190303	医療情報を適切に管理する	市立病院・企画管理室	会計区分	病院事業 計画区分 一般事業 202 戦略区分 ー								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
医療情報がコンピュータ等により適切に管理され、業務の効率化と共有化を推進する	システム運用報告会の開催(回)		11	11	11	11	11	計画額	287,855	461,839	313,798	359,500	528,863
			11	9	38	23	11	(一般財源)	0	0	0	0	0
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	287,855	461,839	313,798	359,500	528,863
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
【対象】 職員及び入院・外来患者	(0)		0	0	0	0	0	決算額	287,855	461,839	313,798	359,500	528,863
			0	0	0	0	0	職員数	13.9	14.1	13.2	13.6	13.5
	(0)		0	0	0	0	0	【業務】 診療記録を適切に保管する 医事会計システムを適切に管理する					
			0	0	0	0	0	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					
【定量分析】: 課題・現状分析								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
「松戸市立病院総合電子医療情報システム」が稼動した。個人情報の漏洩リスクや改ざん防止に配慮したセキュリティー環境を設定したり、職種別に利用制限を設けるなど、個人情報の適切な管理保護に留意している。								院内に発足した電子情報管理運用委員会を軸に、更なる運用面の充実と電子化に対応した危機管理体制(個人情報の漏洩等)の強化に努める。					

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	19 高度・良質な医療を提供する	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	4 病院経営基盤の安定を図る	【項】	健康の維持・増進
【基本事務事業】	1904 病院事業の適切な運営を図る	【基本計画区分】	202【担当課】 5711000 市立病院・企画管理室

【目的】	市民のニーズに合った良質な医療サービスを効率的・継続的に提供していくことで経営の効率化を目指し、累積欠損金を削減する。	【背景】	地方財政及び自治体病院の厳しい経営状況が続いているなか、市内の医療環境も変化しており、自治体病院の存在意義が問われている。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				190401	公営企業会計の財務と経営管理をする	地域のニーズのなかでも政策医療としての役割を考えつつ、病院経営の方向性を明確にして適正な運営・経営を行なう。

【今後の課題】
地域のニーズを踏まえ、担うべき分野・水準を明確にし、質が高く効率的な医療を提供していく体制を構築していく必要がある。

【重要性】
二つの病院が地域の中核的病院として機能し続けるためには、信頼の確立とともに経営基盤の安定が前提となる。

【現状分析】
平成19年度における病院事業全体の決算は約3億7779万円の純損失を計上し、累積欠損金が30億6351万円となった。自治体病院の役割、外部環境の変化を勘案した適正な繰入金額の設定や、増収、支出削減に向けた経営改善を継続し安全経営を図っていく。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
累積欠損金			17.1	16.1	15.1	14.1	13.1
(億円)			16	15.5	21.8	25.2	27.7
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	19 高度・良質な医療を提供する	【施策】	4 病院経営基盤の安定を図る
【基本事務事業】	1904 病院事業の適切な運営を図る	担当課:	5711000
【事務事業】	190401 公営企業会計の財務と経営管理をする	市立病院・企画管理室	会計区分 病院事業 計画区分 一般事業 202 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
会計準則に基づいた会計処理により財務管理を行い健全経営を図る。また、資金計画や設備投資が的確に行われ公営企業としての責任を果たし、市民の理解と負託に応えられる事業を実施する。	医療収支比率(市立病院)(%)	医療収益÷医療費用×100	95	95	95	95	95	計画額	1,256,868	3,375,732	3,043,071	2,824,309	3,543,139
			95.92	94.47	90.49	88.38	85	(一般財源)	0	0	0	0	0
	医療収支比率(東松戸病院)(%)	医療収益÷医療費用×100	82	82	82	82	82	予算額	1,256,868	3,375,732	3,043,071	2,824,309	3,543,139
			79.99	83.45	84.46	79.2	78.82	(一般財源)	0	0	0	0	0
								決算額	930,296	897,798	899,614	981,603	1,377,018
								職員数	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
	()		0	0	0	0	0	【業務】	累積欠損金を削減する				
			0	0	0	0	0		病院の建替え				

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

診療報酬の改定、病棟閉鎖、国の三位一体の改革による補助金の財源移譲により、平成19年度の市立病院における収益が減収した。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

国の動向を見つめつつ、今後も支出抑制策を推進するとともに、経営改善に向けた病院としての方策を実行していく。